

# 豊中の未来を描こう！！

発行 2017年5月

VOL. 127

早くも  
市役所は  
クールビズ！！

豊中市議会議員  
無所属

## かんばらこういちろう 神原宏一郎の つながり通信

～生活・社会そして人・・・すべては政治とつながっている～



## 関心・期待感・信頼感を抱く政治へ

### ◆2017年度の予算審議報告！！～文教常任委員会にて～◆

#### 保育所等の施設と地域との共生について ～『煩音』対策が急務！！～

**Q.** 保育所等の新增設や改築が急速に進められる中、施設の整備・運営にあたって、地域とのトラブルが発生するケースがあるようだが、トラブルの要因は？

**A.** 車や自転車送迎に係る保護者のマナー、保護者の話し声などが挙げられる。

**Q.** 保育所等が抱える近隣トラブルには、※煩音対策が必要で、事業者の誠意ある対応による関係改善が何よりも重要ではないか？

**A.** 煩音については、これまでの事例に該当するところが多く、対応すべきと考えている。事業者、近隣住民はもとより、利用者の意識も大変重要な要素と考えており、利用者にもご理解・ご協力を求めている。

#### 《意見》

待機児童解消には、事業者の新增設による協力が不可欠で、市として事業者と地域との関係性を構築する手助けや、保護者に対し地域への配慮を促すべき。

※『煩音』とは、心理的に不快な音で、騒音とは異なり、音量はそれほど大きくなくても、聞く人の心理状態や人間関係などの要因によって煩わしく感じられる音



#### 子育てしやすい施設整備について ～父親のための子育て環境の充実を～

**Q.** 粉ミルクや離乳食を作る場所が授乳スペース内に設置されており、男性が入り辛かったり、子どものおむつを替える際、男性トイレにはオムツ交換台がないことがある。そもそも、女性トイレにだけ、乳幼児のマークやオムツ交換台のマークが併記されていることもある。父親のための子育てしやすい環境づくりをより一層、進める必要があるのでは？

**A.** 関連部局で構成するこども施設推進本部連絡会議や実務担当者会議で課題を共有し、その対応について検討を進める。

#### 《要望》

表示の工夫などは容易にできると思うので、可能なことから早急に対応して欲しい。また、設備や機能を設置することは、財政的な課題もあると思うが、今後の整備や建設等の際には、庁内全体への理解と意識共有を図り、最大限配慮して欲しい。

#### 庄内地域における小中一貫校の整備について ～真の魅力ある学校とは！？～

**Q.** 今年度中の策定が予定されている庄内地域の(仮称)「魅力ある学校」づくり計画の概要は？

**A.** 新たな小中一貫校2校の通学区域を明確にし、庄内小学校、野田小学校、島田小学校の通学区域を対象とする新たな小中一貫校に関する基本的な考え方やスケジュール、留意事項などを記述する。

**Q.** 庄内地域における小中一貫校の整備計画は、現在どのような状況にあるのか？

**A.** 現在の案では平成29年度中に計画を策定し、平成34年度に1校目の小中一貫校、平成36年度に2校目の小中一貫校の開校を想定。一部の地域では学校存続に関する署名活動が行われていると聞いている。

**Q.** 教育委員会が考えている『義務教育学校』とはどのようなものか？

**A.** 義務教育学校は、一人の校長のもと、義務教育9年間の一貫した教育課程で実施される9年生の学校。この学校には教育課程の特例が認められ、独自教科の設定や指導内容の入替えが可能。

**Q.** 義務教育学校はメリットが多いのであれば、市内の他の中学校区でも義務教育学校の整備を進めていこうと考えているのか？

**A.** 既存の小中学校の再編や通学区域の見直し等を伴うことから、学校や地域の実情を踏まえ、慎重に検討する必要がある。

## 夏季休暇短縮に伴う給食の提供について

～授業をするなら給食の提供も！！～

**Q.** 夏季休業日短縮による授業日数の拡充に伴い、8月中の給食を開始している自治体も多く見られる。豊中市では、9月1日からしか学校給食が提供されていないが、提供できない課題があるのか？

**A.** 現在、第2学校給食センターの整備に合わせ、各学校の配膳室の整備を進めているが、工事は長期間給食がない夏季休業期間中しかできず、昨年度9校の配膳室工事を行ったが、残り8校が未整備。そのため配膳室の整備が完了するまでは8月に全小学校で一斉に給食を開始することが難しい。

### 《要 望》

配膳室の未整備校は早急に整備を完了するとともに、第2学校給食センターの早期供用開始に向けて尽力し、なるべく早く8月の給食提供を実現して欲しい。

## 日本語に課題のある子どもについて

～文化の違いも考慮を！！～

**Q.** 市内の小中学校で日本語に課題のある児童・生徒数とここ数年の推移は？

**A.** 日本語指導を必要とする児童生徒数は、昨年度**86名**で5年前の約1.5倍。

**Q.** 言語だけでなく、文化、思想信条等の違いで、学校や地域になじめず、孤立や対人トラブルになるケースもあり、言語以外でも支援が必要ではないか？

**A.** 帰国・渡日等児童生徒の中には、学校生活や学習に馴染めなかったり、トラブルが生起する場合もあり、相談員が学校を訪問し子どもの実態や課題を把握するとともに、学校と教育委員会が情報共有及び課題解決に向けた支援策を検討している。また、とよなか国際交流協会等関係機関と連携した取組みも行っている。

### 《要 望》

帰国・渡日等児童生徒や家族の言語や文化などの個性や価値観を周囲の子どもたちや保護者、教職員が理解しなければ、孤立する児童、生徒やその家族が今後も生じるため、理解や意識の醸成に努めて欲しい。

※詳細は、ホームページ・議会報告をご覧ください。

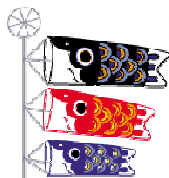
[http://www.geocities.jp/positive\\_square/](http://www.geocities.jp/positive_square/)

※公式記録については、市議会会議録検索まで。

<http://toyonaka.gijiroku.com/gikai/>

※ご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

[young\\_spiritjp@yahoo.co.jp](mailto:young_spiritjp@yahoo.co.jp)



## 防犯ブザーの配布と携帯について

～配布するなら携帯率の向上を！！～

**Q.** 小学校新1年生に防犯ブザーを配布しているが事業の経緯と効果は？配布したブザーの携帯率は？

**A.** 平成20年度以降、新1年生に配布しており、児童本人や各家庭における防犯意識を高めるとともに、不審者等から身を守る安全行動をとる際に、大変効果的と認識している。携帯率は、低学年は**90%**以上、中学年は**60~70%**、高学年は**30~40%**。

### 《意 見》

学年問わず全児童に携帯して欲しいとの思いで防犯ブザーを配布し続けているが、携帯率は学年が上がるとともに下がり、高学年では30~40%とかなり低い状況にある。防犯ブザーの携帯を呼びかけ、配りっぱなしにならないようにすべき。

## 支援学級の状況について

～人的支援の充実を！！～

**Q.** 支援学級の在籍者数と学級数の推移は？一方、支援学級の介助員の配置状況は？

**A.** 小中学校合わせ、平成26年度は964名・236学級、平成27年度は1067名・257学級、平成28年度は**1199名・276学級**で増加傾向。障害児介助員は、平成26年度から平成28年度まで59名で増員はない。

### 《意 見》

支援学級在籍者数や学級数が増加傾向にある中、介助員はここ数年、全く増員されていない。現場や保護者からは、介助員以上に教員の増員を望む声も多く、ニーズに応じた人的支援を充実すべき。

## 豊中市議会 6月定例会の予定

◆本会議(初日) 5月19日(金) 午後1時から

◆本会議(役員選挙) 午後1時から

5月23日(火)、25日(木)、30日(火)、

◆本会議 6月1日(木) 午後1時から

◆各常任委員会 午前10時から

6月5日(月)、8日(木)、9日(金)、12日(月)

◆本会議(個人質問) 午前10時から

6月20日(火)、22日(木)、26日(月)

※変更する場合もございますので、議会事務局までご確認ください。(議会事務局議事課:TEL:06-6858-2633)



## 発行元 前向きひろば ~Positive Square~

〒560-0021 豊中市本町 3-1-20 エルビル 2階

TEL&FAX:06-6854-5664

平日(土・祝日は除く)の10時から17時はスタッフがおります。

[young\\_spiritjp@yahoo.co.jp](mailto:young_spiritjp@yahoo.co.jp)

[http://www.geocities.jp/positive\\_square/](http://www.geocities.jp/positive_square/)

Facebook 活用しています！！

「つながり日記」毎日HPで更新中！！

※ご希望の方には通信を無料でお届けします。お気軽にご連絡ください。



## 前向きひろば 神原宏一郎 事務所

